

令和7年度 相模原療育園事業報告

1 療養介護事業

1) 利用者状況

(1) 入所者 57名 (男26名 女31名)

(2) 年齢別 (最高年齢: 77歳 最低年齢: 21歳 平均年齢: 49.32歳)

| 歳 | 18~19 | 20~29 | 30~39 | 40~49 | 50~59 | 60~69 | 70以上 | 計(名) |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 男性 | 0 | 3 | 3 | 5 | 7 | 6 | 2 | 26 |
| 女性 | 0 | 7 | 1 | 4 | 13 | 4 | 2 | 31 |
| 計(名) | 0 | 10 | 4 | 9 | 20 | 10 | 4 | 57 |

(令和8年3月末現在)

(3) 入所者医療度

| 項目 | 人数 |
|--------|-----|
| 超重症児 | 6名 |
| 準超重症児 | 5名 |
| 気管切開 | 5名 |
| 中心静脈栄養 | 2名 |
| 胃瘻 | 17名 |
| 経鼻経管栄養 | 3名 |

(4) 大島分類

| 大島分類 | 人数 |
|------|-----|
| 1 | 26名 |
| 2 | 18名 |
| 3 | 0名 |
| 4 | 4名 |
| 5 | 6名 |
| 6 | 1名 |
| 8 | 1名 |
| 9 | 1名 |

(5) 1年間の推移

| | |
|--------|----|
| 新規入所 | 4名 |
| 転所 | 0名 |
| 退所(死亡) | 4名 |

2) 職員配置 (令和8年3月末)

| | 医師 | 看護師 | 薬剤師 | リハビリ | 生活支援 | 栄養士 | 生活介護 |
|-----|----|-----|-----|------|------|-----|------|
| 常勤 | 2 | 21 | 2 | 3 | 21 | 1 | 1 |
| 非常勤 | 4 | 10 | 0 | 2 | 6 | 0 | 0 |

3) 医療

令和7年度は長期入所者中4名の退所者があり、4名の新規長期入所者受け入れを行った。誤嚥性肺炎の反復などで経口摂取困難となり、新たに経管栄養を開始した利用者は2名、新たに胃ろう造設を行った利用者は2名となった。

また、状態悪化により中心静脈栄養を継続して実施している利用者は2名おり、尿路感染症反復で新たに2名が膀胱カテーテル留置となった。何らかの医療デバイスを要する利用者が増加し、高次医療機関への緊急搬送や受診や、転院し、専門的な医療を受ける利用者が多くなっている。

感染症については、6月、11、12月に新型コロナウイルス感染症罹患者が複数名みられたほか、インフルエンザ罹患者もみられた。こうしたことから、感染予防策を徹底して行った。

短期入所者については新規受け入れを継続して実施しており、在宅人工呼吸器療法を行っている方も引き続き受け入れている。在宅人工呼吸器新規受け入れのための勉強会なども実施した。

4) 看護

重症心身障害に伴う合併症は年齢と共に出現する方が増えており、医療的ケア者は増加傾向にある。また、重症心身障害者は、健常者に比べ急変するリスクも高いことから、他院への受診は、71件（うち緊急受診・入院が9件）と利用者の状態は日々変化している。利用者の健康管理、異常の早期発見、急変時の対応スキルの向上など看護の知識・技術をさらに高めていくとともに、職員間での情報共有を行い看護に繋げている。

感染症に関しては、5月に細菌による呼吸器感染症が16名発症、6月に新型コロナウイルス感染症が5名発症、11月～12月にかけて新型コロナウイルス感染症が11名・インフルエンザが2名発症、2月に呼吸器感染症が複数名発症。長期間にわたる感染対策強化、面会制限・中止があった。今後も継続的な感染症対策の教育と実践を行っていく。

ACP（アドバンスケアプラン）については、利用者らしい人生の看取りを考え、ご本人・家族等を含めて意向をくみ取るよう多職種でカンファレンスを行い、共に考えながら実践・継続を行っていった。今後も年齢を重ねていく利用者とその家族等の意向を尊重しながら、更に知識の習得に努めたい。

5) 生活支援

新たな利用者を迎え、園の生活に早く慣れていただけるよう、家族等と連携を図り支援計画を立てている。外泊を定期的に入れることで、在宅から入所への移行がスムーズにできている。

家族等の面会については土日に多くの面会があり、食事介助や近くの慰霊塔へ散歩に行くなど、利用者との時間をゆっくり過ごされている。

利用者の居室環境に関しては、身体拘束最小化に向け高柵ベッドを廃止、2月よりフロアクッションを導入した。動きのある利用者の安全を見守りながら環境設定に努めている。

職員研修は、eラーニングを受講し支援の再確認を行った。

実習の受け入れは保育実習2校、介護実習2校を行った。重症心身障害児者の学びを深めて関心を深める機会となり人材育成につなげた。

【 令和7年度 年間活動内容 】

| 活 動 | | | カーハイク | | |
|-----|---|--|--------------------------|--|-----------------------|
| 月 | 内容 | 行事・小行事 外出 | 所在地 | 外出先 | 体験活動 |
| 4 | お花見(慰霊塔)×6回 園周辺散策×6回 スヌーズレン 手指マッサージ・オーガンジーパラシュート | | | | |
| 5 | のんびり散策(慰霊塔)×2回 色合わせ神経衰弱 園周辺散策(つつじ探し) 園周辺散策(森林浴) マッサージ 園周辺散策 絵本読み聞かせ 制作「あじさい」 | イオン相模原店(買い物) 相模大野ステーションスクエア (買い物) ボランティアによる ハンドマッサージ | 横浜市 相模原市 | 横浜イングリッシュガーデン 麻溝公園 | バラ鑑賞 散策 |
| 6 | スライム作り 園周辺散策「あじさいを探しに行こう」 ピーナツバルーン「身体を伸ばそう」 園周辺散策×2回 リラクゼーションマッサージ ひんやりマッサージ スヌーズレン | | | | |
| 7 | 制作「風鈴作り」 足浴 スヌーズレン 足浴・マッサージ 氷の活動 外気浴 手浴・足浴 | 夏祭り | 藤沢市 相模原市 八王子市 | 新江ノ島水族館 相模川ふれあい科学館& 古淵イオンスタバ 日野オートプラザ | 観賞 観賞 鑑賞 |
| 8 | ボールスライダー・エアートランポリン ハンドマッサージ ハンド・フットマッサージ スヌーズレン×2回 水遊び エアートランポリン アロマでリラックス | | 多摩市 | サンリオピューロランド アクアミュージアム銀座三越 | 鑑賞 観賞 |
| 9 | ボールスライダー・エアートランポリン ムーブメント「収穫の秋を楽しもう」 | | 相模原市 多摩市 | 相模川ふれあい科学館 サンリオピューロランド | 観賞 鑑賞・買い物 |
| 10 | 美容「顔パック」 美容「アロマ・マッサージ」×2回 足浴 買い物 園周辺散策 | | 平塚市 相模原市 愛川 横浜市 | 神奈川県立花菜ガーデン 相模原市立博物館 オギノパン&アリオ橋本 ズーラシア動物園 | 散策 観賞 買い物 観賞 |
| 11 | 絵本読み聞かせ | 美容ボランティア「ラシックの森」 みぞのぐちジェントルサウンズ 吹奏楽団 | 横浜市 厚木市 | みなとみらい 洋菓子エミタス&ほうさいの丘公園 | 散策 買い物・散策 |
| 12 | クリスマス制作×3回 園周辺散策×2回 | クリスマス会 コーラス キャロリング | | | |
| 1 | | お正月お楽しみ 美容ボランティア「ラシックの森」 イオン相模原店(買い物) 音楽ボランティア「ディンドン」 | | | |
| 2 | | 美容ボランティア「ラシックの森」 | 相模原市 | サカタのタネグリーンハウス | 散策 |
| 3 | ひな祭り女子会 ひな祭り ムーブメント「いちご狩り」 制作「桜・菜の花」 戸外活動×4回 美容・リラクゼーション | 美容ボランティア「ラシックの森」 | 立川市 | 昭和記念公園 | 散策 |

6) 薬局

院内処方箋の正確な調剤・監査、医薬品・消毒剤等の適切な在庫管理を行った。また、災害時等の備蓄薬についてもリストを見直し在庫管理を行った。後発医薬品の出荷調整が続き、処方された医薬品の剤型・メーカー変更を数品目実施した。看護課と病棟業務のすり合わせを行い調剤のスリム化に取り組んだ。

病棟業務として定時薬・臨時薬処方箋の確認、配薬カートへの定時薬・臨時薬の充填、食事・予約確認表の作成、水剤の計量、注射剤の個人別セット、病棟配置薬の管理、昼食時の配薬など医薬品に関わる業務全般を行った。麻薬の使用に向けて看護師と連携を図りながら手順書の準備を進めた。短期入所者の薬の管理、電子カルテの代行入力を行った。

各種委員会やケース会議に参加し、多職種と連携してチーム医療に貢献した。新規採用医薬品使用時は、その副作用等注意事項を利用者に係る職員に周知したほか、全職員対象の「医薬品安全管理のための研修会」をeラーニング型式で実施し、医薬品に関する様々な知識等を職員に周知した。院内外の研修会・説明会等に積極的に参加し、専門的知識の向上に努めた。

不動産在庫を減らすために各医師と情報共有してコスト削減に努めた。

<処方箋発行数> (令和7年4月～令和8年3月) (単位：枚)

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 定時 | 72 | 66 | 56 | 62 | 63 | 79 | 61 | 68 | 72 | 61 | 63 | 79 | 802 |
| 臨時 | 204 | 225 | 172 | 195 | 158 | 128 | 183 | 191 | 233 | 197 | 182 | 230 | 2,298 |
| 院外 | 66 | 84 | 69 | 97 | 65 | 82 | 95 | 65 | 100 | 70 | 82 | 95 | 970 |
| 注射 | 131 | 149 | 141 | 80 | 90 | 85 | 66 | 66 | 21 | 75 | 100 | 141 | 1,145 |

7) リハビリテーション

利用者個々の必要性に応じて理学療法と作業療法を実施した。リハビリテーション実施人数は延べ3,433人(前年同期間比150人減)、実施単位数は4,536単位(233単位減)であった。

呼吸介助や排痰が必要な利用者に対する毎朝のコンフォートカフ、腹臥位による呼吸ケアと姿勢ケアを実施した。各グループのケース会議の中でリハビリテーションカンファレンスを実施した。入所利用者の補装具については第2・4水曜日に車いす・座位保持装置・下肢装具の定期的な修理・作製を行った。補装具作製件数は車いす作製2件、姿勢保持装置作製2件だった。

8) 栄養

厨房の改修工事に伴い、食事の提供方法がクックサーブ方式からマイクロ波再加熱カートを使用したニュークックチル方式へ切り替わった。仮設厨房の間は食器の一部を使い捨て食器に変更し、米飯以外の主食は市販品を使用して食事提供を行った。厨房改修後も設備関係が整うまでの間は、仮設時と同様の提供方法を継続した。プレハブ冷蔵庫を使用した新しいタイムスケジュールを整えて、6月からニュークックチルシステムの本格稼働を開始した。

新規導入した電気式立体炊飯器での試し炊きを繰り返し、本稼働後の主食は4形態(米飯・全粥・ゼリー粥・ミキサー粥)全て厨房内で作り提供を行っている。

8月から週2回、午後のジュースの提供を再開した。
 食事箋のコメント欄で対応していた副食1/2量の指示を、食種の欄で直接選択できるように、電子カルテのマスタ整備を行った。

また、摂食評価会議では、定例評価、随時評価を行っている。

2 短期入所事業

1) 利用者状況

(1) 月別利用者数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----------|
| 延人数 | 17 | 15 | 9 | 21 | 15 | 16 | 20 | 12 | 11 | 13 | 12 | 16 | 177(名) |
| 延日数 | 100 | 85 | 48 | 116 | 97 | 100 | 107 | 92 | 77 | 85 | 74 | 90 | 1,071(日) |

- ・空床を利用し4名の受け入れを行う。
- ・見学10件、事前診察5件、新規契約2件、長期利用への移行4名。

(2) 利用者年齢別

| 年齢 | | 人数 | |
|----|--------|-----|------|
| 児童 | 7～17歳 | 7名 | 計7名 |
| 成人 | 18～19歳 | 5名 | 計33名 |
| | 20歳以上 | 28名 | |

(3) 重症度スコアに基づく準・超重症児者数

| スコア | 人数 | |
|-----------------|-------|----|
| 超重症児 (25以上) | 18歳未満 | 0名 |
| | 18歳以上 | 5名 |
| 準超重症児 (10以上) | 18歳未満 | 2名 |
| | 18歳以上 | 4名 |
| 医療的ケア | 18歳未満 | 1名 |
| | 18歳以上 | 4名 |

2) 医療・看護・生活支援

8月より入退所時間を変更し（退所：15:00→10:00、入所：9:30→10:30）、より効率的なベッド管理が可能となっている。

感染症に関しては、施設内感染に伴い、入所のキャンセルが数件発生した。

令和7年3月より開始された新しい給食システムが5月より本稼働されたが、特に問題なく安全な食事提供ができています。

令和8年1月より、短期入所中の生活介護利用（入所日含む）を開始、家族等からは「慣れた場所で過ごすことができるのはうれしい。」という声が多く聞かれた。

3) 薬局

入所時面談に同席し、利用者の持参薬を鑑別し、安全な服薬管理に努めた。令和6年2月より、電子カルテ上での短期入所者持参薬入力業務を実施した。

<持参薬鑑別件数> (令和7年4月～令和8年3月)

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 件数 | 18 | 13 | 10 | 20 | 13 | 13 | 14 | 10 | 10 | 11 | 11 | 13 | 156 |

4) 栄養

医師の食事箋に基づき食事を提供した。

アレルギーがある利用者には、個別に献立を作成し代替の食事提供を行った。

水分補給でゼリーを喫食している方用に、必要量のゼリーを作り提供した。

3 生活介護事業

1) 利用者状況 (令和8年3月31日現在)

(1) 登録17名 (男6名 女11名)

(2) 年齢別 (最高年齢：44歳 最低年齢：19歳 平均年齢：28歳)

| 歳 | 18～20 | 21～30 | 31～40 | 41～50 | 計(名) |
|------|-------|-------|-------|-------|------|
| 男性 | 0 | 2 | 3 | 1 | 6 |
| 女性 | 2 | 7 | 1 | 1 | 11 |
| 計(名) | 2 | 9 | 4 | 2 | 17 |

(3) 利用者医療度

| 項目 | 人数 |
|-------|-----|
| 超重症児 | 3名 |
| 準超重症児 | 2名 |
| 気管切開 | 3名 |
| 胃瘻 | 6名 |
| 経鼻経管 | 2名 |
| 呼吸器 | 1名 |
| 計 | 17名 |

(4) 大島分類

| 大島分類 | 人数 |
|------|-----|
| 1 | 12名 |
| 2 | 1名 |
| 3 | 1名 |
| 4 | 3名 |
| 5 | 0名 |
| 7 | 0名 |
| 計 | 17名 |

(2) 事業実施状況

| 登録者数 | 利用人数 | 1日平均 | 送迎 | 給食 | 入浴 | 医療的ケア | 新規 | 解約 |
|------|--------|------|--------|------|------|-------|----|----|
| 17名 | 1,035名 | 4.3名 | 1,912名 | 823名 | 428名 | 9名 | 1名 | 2名 |

(3) 月別利用者数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----------|
| 延人数 | 95 | 93 | 96 | 106 | 61 | 86 | 97 | 79 | 83 | 82 | 76 | 81 | 1,035(名) |

今年度は4月から新規利用者1名が加わり、利用者数18名でスタートした。8月に1名、10月に1名（どちらも週1日利用）が当施設の療養介護利用に伴い解約となった。空いた曜日は10月1名の利用へと繋がった。

4) 事業内容

日中活動では、季節に応じた活動を通して、小集団で共に充実した時間を過ごせるよう環境構成に意識や配慮をしながら取り組んだ。支援を行っていく中で、利用者の楽しむ表情やリラックスしている様子を見ることができ、小集団である事を活かした支援を提供することができた。

新たな試みとして、午後のリラクゼーションの時間に、家族からの要望も多いストレッチを取り入れた。リハグループと協働しながら、他の事業者を含めた多職種連携支援にあたり、一時的ではあるが柔軟性の向上がみられた。この他、令和8年1月より開始した、生活介護契約者による短期入所利用期間中の生活介護受け入れについては、1月～3月までの期間で、9名延べ13日の実績であった。

個別支援計画では、ニーズに基づき支援計画を作成し実施した。日々の支援を通し、利用者の変化への気付きや視点の置き方等、実施や振り返りを重ねながら、より充実した支援に取り組んだ。

また、今年度も個別支援計画の家族面談を4月と10月の2回実施した。これにより、家族との情報共有を図ることができ、日々の支援に反映することができた。

今年度も神奈川県立相模原中央支援学校から1名の実習生を受け入れた。

4 外来診療

1) 医療

てんかん外来は施設長、発達外来は施設長と非常勤の小児科医2名、北里大学病院精神神経科医師の計4名でおこなっている。外来診療の日数が限られていることから、再診予約がとりにくい状況が続いており、今年度は再診の枠を拡大する目的もあり、てんかん及び発達障害で通院していた高校生以上の患者、約70名を成人科に紹介した。また、9月より発達外来の初診枠を確保するために、選定療養費（予約料）を導入した。

リハビリを実施する前に、毎回、リハビリが受けられる健康状態であるか、受け答えができるか、医師の指示に従えるか等の発達の確認をする目的で「リハ前診察」を行っているが、リハ前診察を除く、外来日の受診者数を表に示す。初診は93名（前年度97名）であった。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計(名) |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 初診 | 10 | 11 | 9 | 11 | 6 | 6 | 9 | 3 | 10 | 5 | 9 | 4 | 93 |
| 再診 | 112 | 142 | 148 | 197 | 141 | 153 | 145 | 132 | 150 | 125 | 142 | 166 | 1,753 |
| 電話再診 | 2 | 1 | 1 | 5 | 5 | 2 | 1 | 9 | 3 | 4 | 3 | 6 | 42 |
| 合計 | 124 | 154 | 158 | 213 | 152 | 161 | 155 | 144 | 163 | 134 | 154 | 176 | 1,888 |

2) リハビリテーション

理学療法士常勤3名、作業療法士非常勤2名の体制で行った。また臨床心理士（公認心理

師) 2名による心理検査を月2回実施している。PT1名を全曜日外来担当とし、他2名は曜日担当制としている。

外来患者の実施人数は延べ2,289名(前年度比101名増加)、実施単位数は6,596単位(305単位増加)であった。リハビリテーション新規患者数はPT40名、OT42名であった。理学療法延べ患者数1,460名(85名増加)、実施単位数4,151単位(240単位増加)、作業療法延べ患者数829名(16名増加)、実施単位数2,445単位(65単位増加)、発達検査の内訳はWISC-V知能検査20件実施(新規)、WISC-IV知能検査10件実施(20件減少)、田中・ビネー知能検査V2件実施(2件減少)であった。

PT・OT個別療法実績(上段今年度実績、下段前年度増減)

| | | 実患者数 | 延べ患者数 | | | 前年比(合計) | |
|-----------|-----------|------|-------|-------|-------|---------|--------|
| | | | 理学療法 | 作業療法 | 合計 | | |
| 患者数 | 6歳未満 | 54 | 188 | 328 | 516 | 91.98% | |
| | | 9 | 6 | -51 | -45 | | |
| | 6歳以上18歳未満 | 164 | 729 | 498 | 1,227 | 114.89% | |
| | | 10 | 89 | 70 | 159 | | |
| | 18歳以上 | 64 | 543 | 3 | 546 | 97.67% | |
| | | -1 | -10 | -3 | -13 | | |
| | 合計 | 232 | 1,460 | 829 | 2,289 | 104.62% | |
| | | 20 | 85 | 16 | 101 | | |
| | | | | | | | |
| | 単位数 | 6歳未満 | | 534 | 979 | 1,513 | 93.51% |
| | | | 20 | -125 | -105 | | |
| 6歳以上18歳未満 | | | 2,105 | 1,463 | 3,568 | 114.32% | |
| | | | 250 | 197 | 447 | | |
| 18歳以上 | | | 1,512 | 3 | 1,515 | 97.62% | |
| | | | -30 | -7 | -37 | | |
| 合計 | | | 4,151 | 2,445 | 6,596 | 104.85% | |
| | | | 240 | 65 | 305 | | |

3) バンビとの連携

リハスタッフがバンビを訪問し、バンビスタッフへの助言と利用児童の状況確認を行っている。OTは年5回訪問し、延べ25名の児童に対応した。PTは3回訪問し延べ25名の児童に対応した。バン療会議はオンライン会議とし、令和7年6月、令和8年3月に実施した。

4) 外来ケース会議の開催

月1回の外来ケース会議を実施した。外来リハを実施しているケースについて、外来医師、外来看護師、リハスタッフが患者情報の共有を行った。

5 地域連携

1) 北里大学病院臨床研修医受け入れ

| 月 | 期間 | 研修・実習名 | 病院名 | 人数 |
|-----|----------------|-------------------|--------|----|
| 10月 | 10/1～31 (1か月間) | 北里大学病院臨床研修医地域医療研修 | 北里大学病院 | 1名 |

2) リハビリテーション 実習生受け入れ

| 月 | 期間 | 実習名 | 学校・学部名 | 人数 |
|------|-----|-------------|--|----|
| 6～7月 | 6週間 | 4年次 臨床実習 II | 信州大学医学部保健学科 理学療法学専攻4年 | 1名 |
| 1月 | 1週間 | 2年次 臨床実習 | 北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻2年 | 1名 |

4) 生活支援課 実習生受け入れ

| 月 | 期間 | 実習名 | 学校・学部名 | 人数 |
|-----|------|------------|------------------------|----|
| 6月 | 20日間 | 3年次 介護実習 I | 町田福祉保育専門学校 介護福祉学科 | 2名 |
| 8月 | 12日間 | 3年次 保育実習 I | 桜美林大学 健康福祉学部保育専修 | 2名 |
| 11月 | 3日間 | 1年次 介護実習 I | アルファ医療福祉専門学校 介護福祉学科 | 2名 |
| 2月 | 14日間 | 3年次 介護実習 I | 相模女子大学 学芸部子ども教育学科 | 1名 |
| 6月 | 20日間 | 3年次 介護実習 I | 町田福祉保育専門学校 介護福祉学科 | 2名 |

5) 医学部学生実習受け入れ

| 月 | 期間 | 実習名 | 学校名 | 人数 |
|----|-------------|--------|------------|-----|
| 9月 | 2日間 2クール | 早期体験実習 | 聖マリアンナ医科大学 | 10名 |

6) 看護課 実習受け入れ

| 月 | 期間 | 実習名 | 学校名 | 人数 |
|----|-------------|-------------|-----------|----|
| 5月 | 2日間 1クール | 3年次 小児看護学実習 | 相模原看護専門学校 | 2名 |
| 6月 | 2日間 2クール | 3年次 小児看護学実習 | 相模原看護専門学校 | 4名 |
| 9月 | 2日間 2クール | 3年次 小児看護学実習 | 相模原看護専門学校 | 5名 |

| | | | | |
|-----|-------------|-------------|-----------|----|
| 10月 | 2日間 1クール | 3年次 小児看護学実習 | 相模原看護専門学校 | 2名 |
| 9月 | 1日間 | 訪問看護実習 | 神奈川県看護協会 | 1名 |
| 10月 | 1日間 4クール | 訪問看護実習 | 神奈川県看護協会 | 4名 |

6 その他

1) 職員研修

| 開催日 | 担 当 | テーマ |
|------------------|--------------|---|
| 7月1日～ 7月31日 | 医療安全・感染対策委員会 | 「形骸化させない！安全確保につながる確認業務」 「基本を再確認！感染経路の理解」 |
| 1月23日～ 2月28日 | 医療安全・感染対策研修会 | 「救急訓練」「初めての急変対応」 「基本を再確認！ノロウイルス感染症対策」 |
| 4月8日～ 4月30日 | 医療機器責任者 | 医療機器研修「コンフォートカフ」 |
| 5月1日～ 3月31日 | 看護・生活支援部 | 看護補助者加算関連研修 |
| 6月1日～ 6月30日 | 褥瘡対策委員会 | 「はじめての褥瘡ケア～予防・発見・悪化予防の基礎知識～」 |
| 8月1日～ 8月31日 | 放射線管理責任者 | 「放射線診療従事者に必要な診療用放射線の基礎知識」 |
| 10月1日～ 10月31日 | 医療ガス管理責任者 | 「医療ガスの安全管理に関わる基本的な考え方」 |

2) 施設内研修

| 開催日 | 講 師 | テーマ |
|-----------------|------------------------------|-----------|
| 10月30日 11月6日 | 桜美林大学 健康福祉学群准教授 谷内孝行 氏 | 障害者虐待について |

3) 園内実践報告会

| 発表職員 | 演題名 | 場所・日程 |
|-------|------------------------|----------------|
| 坂本 由美 | 安定した車椅子乗車をするために | 多目的ホール 2026年3月 |
| 小堺 翔太 | 経管栄養と経口摂取が混在するグループの例 | |
| 福田 恵子 | 予防的スキンケアをめざして | |
| 船橋 健太 | 夜間の興奮・不眠に対する芳香浴実施効果の検証 | |
| 赤池 萌子 | 日常生活に寄り添う美容の取り組み | |

4) 学会発表

| 発表者名 (共同演者含む) | 演題名 | 学会名・場所・日程 |
|------------------|---|--|
| 深澤 宏昭 | ツナガリウォークにおける発達支援部の取り組み—足型ワークショップを通じた啓発活動— | 第 42 回神奈川県理学療法士学会 パシフィコ横浜 2026 年 2 月 1 日 |

5) 論文・著作

深澤宏昭, 横山美佐子：協調運動の評価と活かし方～運動の不器用さがある神経発達症の子どもを身体と運動から捉え、支援につなげる理学療法の視点～. 小児リハビリテーション. 株式会社ともあ. 2026; 24: 32-43.

6) 講演会・講習会（「月」「講演者名」「講演・講習会名」「場所」の順に記載）

| 月 | 講演者名 | 講演・講習会名 | 場所 |
|------|-------|---|---------------------|
| 6 月 | 深澤 宏昭 | チャレンジドチア・パラチアライセンス講習会 ・チャレンジドチア・パラチアの実践にあたり、知っておきたい障害福祉と障害者スポーツのこと ・発達障害・知的障害がある子どもの運動の不器用さについて | the BASE 成城学園前 |
| 8 月 | 樋口 滋 | 令和 7 年度 特別支援教育研修講座Ⅲ 重度・重複障害児の医学的基礎知識 ～重度・重複障害児の呼吸と姿勢～ | 神奈川県立総合教育センター |
| 11 月 | 樋口 滋 | 令和 7 年度 相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修 重症心身障害児者の「こころ良さ」を目指して—身体メカニズム、介助の方法、ポジショニング— | 相模原市立障害者支援センター 松が丘園 |
| 12 月 | 樋口 滋 | 相模原市職員研修会 呼吸介助手技について | 相模原市立陽光園 |
| 12 月 | 深澤宏昭 | 第 12 回日本小児理学療法学会 学術大会 臨床セミナー2 「DCD に関するシステムティックレビューを活かした臨床実践の工夫」 | 愛知淑徳大学 星が丘キャンパス |
| 1 月 | 深澤宏昭 | 神奈川県理学療法士会発達支援部講習会 「発達障害児への支援のヒント」 | WEB 開催 |
| 11 月 | 樋口 滋 | 令和 7 年度 相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修 重症心身障害児者の「こころ良さ」を目指して—身体メカニズム、介助の方法、ポジショニング— | 相模原市立障害者支援センター 松が丘園 |

7) 研修・講演会参加
・医師

| 月 | 講演者名 | 講演・講習会名 | 場所 |
|-----|-------|---|---------------------|
| 7月 | 細田のぞみ | 相模原市保育者キャリアアップ研修 障害のある子どもの理解 | 市民会館 |
| | | 相模原市保育者キャリアアップ研修 小児の発育・発達の理解と個別的是配慮を必要とする子どもへの対応 | |
| 9月 | 細田のぞみ | 令和7年度教育相談スーパーバイズによる事例検討会 | 神奈川県立総合教育センター |
| | | 令和8年度開始の5歳児健診に係る講演会 5歳児健診の意義について | 相模原市医師会役員室 (Web 配信) |
| 10月 | 細田のぞみ | 神奈川県・横浜市・川崎市共同事業 2024年度 小児訪問看護・重症心身障害者看護研修会 小児のてんかん、けいれん、ひきつけの医療と理解 | 神奈川県中小企業センタービル |
| | | 令和7年度相模原市重度心身障害児者・医療的ケア児等看護研修事業 てんかんを学ぼう | 相模原市立障害者支援センター松が丘園 |
| | 武田 憲子 | 令和7年度相模原市重度心身障害児者・医療的ケア児等看護研修事業 消化管のはなし～胃ろうのあれこれと排泄管理のコツ～ | |
| 2月 | 細田のぞみ | 相模原市5歳児健診事業説明 | 相模原市医師会役員室 (Web 配信) |
| | | 令和7年度相模原市重度心身障害児者・医療的ケア児等看護研修事業 医療的ケア児等コーディネーターと考えるつながり | 相模原市立障害者支援センター松が丘園 |
| | | 特定非営利法人 全員参加による地域未来創造機構 2025年度キャリアアップ研修 発達生涯 1人1人の個性に寄り添う支援 | オルタナティブ生活館 まなびや |

・診療部

| 開催月 | 研修名 | 実施主体 | 参加者 |
|-----|--------------------------|--------------|---------|
| 4月 | 第24回こどもの福祉用具展キッズフェスタ2025 | S.P.ビームス株式会社 | 理学療法士1名 |
| 12月 | 第12回日本小児理学療法学会学術大会 | 日本小児理学療法学会 | 理学療法士1名 |

・看護課

| 開催月 | 研修名 | 実施主体 | 参加者 |
|-----|-------------------------------------|-----------------------|--------|
| 5月 | 第87回 重度・重症児（者）医療・療育（基礎）講習会 | 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所 | 看護師 1名 |
| 5月 | 第68回 重度・重症児（者）医療看護師講習会 | 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所 | 看護師 1名 |
| 6月 | 第11回 障害児（者）施設 看護師講習会 ミドルコース | 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所 | 看護師 1名 |
| 7月 | 高齢者のスキンケア | メディカルセミナーズ | 看護師 1名 |
| 10月 | 第46回 看護管理者講習会 | 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所 | 看護師 1名 |
| 10月 | R7年度相模原市災害医療救護対策研修及び訓練 | 相模原市健康福祉局保健衛生部医療政策課 | 看護師 1名 |
| 10月 | R7年度相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修 | 相模原市立障害者支援センター松ヶ丘園 | 看護師 1名 |
| 11月 | 第50回 日本重症心身障害学会学術集会 | 独立行政法人国立病院三重病院 | 看護師 1名 |
| 12月 | 臨床倫理 | 相模原市病院協会 看護部長会 | 看護師 1名 |
| 2月 | 第5回日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師フォローアップ研修 | 日本重症心身障害福祉協会 | 看護師 1名 |
| 2月 | 第89回 重度・重症児（者）医療・療育（基礎）講習会 | 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所 | 看護師 1名 |

・生活支援課

| 開催月 | 研修名 | 実施主体 | 参加者 |
|-----|-------------------|--------------------------|----------|
| 8月 | 新任福祉・介護施設等合同交流研修会 | 神奈川県社会福祉協議会 | 生活支援員 1名 |
| 8月 | キャリアパス チームリーダー編 | 神奈川県社会福祉協議会 | 生活支援員 1名 |
| 12月 | サービス管理責任者基礎研修 | 特定非営利活動法人 シーガル研修・研究機構 | 生活支援員 1名 |
| 9月 | 職員研修 実践報告会 | 神奈川県 重症心身障害児者関係施設協議会 | 生活支援員 1名 |
| 10月 | てんかん講座 | 障害支援センター松ヶ丘園 | 生活支援員 1名 |
| 12月 | 摂食・嚥下指導研修会 | 日本肢体不自由児協会 | 生活支援員 1名 |
| 2月 | 重心協職員研修会 | 神奈川県 重症心身障害児者関係施設協議会 | 生活支援員 1名 |
| 3月 | 保育実習協議会 | 桜美林大学 | 生活支援員 1名 |

